

令和4年度 個別学力検査等（後期日程）

筑波大学人間学群 障害科学類

「論述」問題

試験実施日 令和4年3月12日

実施時間 10:00—11:00

[解答上の注意]

1. 指示があるまで問題冊子を開かないでください。問題冊子1部、答案用紙2枚、下書き用紙2枚が配布されていることを確認してください。
2. 「論述」の問題は問1から問4まであります。解答には指定された答案用紙をそれぞれ使用してください。
3. 下書き用紙に記入された内容は採点の対象にはなりません。解答する際に十分注意してください。
4. 「始め」の合図があったら、2枚の答案用紙の所定の欄に、氏名と受験番号を忘れずに記入してください。問題冊子は表紙を含めて2ページまであります。
5. 不明の点があった時や気分が悪くなった時は、手を挙げて知らせてください。

[答案用紙回収時の注意]

1. 「終了」の合図があったら、ただちに筆記用具を置いてください。監督員の指示に従わない場合は不正行為とみなします。
2. 2枚の答案用紙を、問題番号順に重ねてください。重ねたまま回収します。
3. 問題冊子と下書き用紙は回収しません。各自持ち帰ってください。

令和4年度個別学力検査等（後期日程） 筑波大学人間学群障害科学類
「論述」問題

以下の架空の物語を読んで、問1から問4に答えなさい。

ここは、実際には存在しない小さな生き物の巣です。この生き物は毎日、群れではなく各々で食べ物を探しに巣から何度も出ていき、巣に持ち帰って共有の倉庫に保管して暮らしています。食べ物を探し出す能力や持ち帰る能力は個々で異なり、1日に持ち帰ることができる量には個体差があります。

これまで、各々が好きな種類、好きな量の食べ物を、自由に倉庫から取って食べて暮らしていました。最近、この方法に対する様々な不満が寄せられました。

そこで、巣のメンバーから選ばれた4匹で、どのように倉庫から食べ物を持っていくとよいかを話し合うことになりました。あなたは、この話し合いに参加しています。

(案)

- ① 毎日くじ引きをして、その日に倉庫から食べ物を持っていく順番を決める
- ② その日に持ち帰った量が多い者から順に食べ物を持っていく
- ③ 巣の全員に対して、食べ物の種類や量を同じにして、均等に配分する
- ④ 各々が自由に食べ物を持って行ってよいが、持って行ってよい量に上限を設ける

問1 話し合いのメンバーから、ある案（枠内の案①～④のうちの一つ）が提案されました。あなたはその案に賛同できません。賛同できないことをどのように話しますか？メンバーの提案を①～④から任意の一つ選び、「案の番号」欄にその番号を書いた上で、あなたの発言を話し言葉で書いてください。

問2 あなたは、ある案を思いつきました。どのようにその案を提案しますか？あなたの発言を話し言葉で書いてください。提案する案は、枠内の案①～④から一つ選んでもよいですし、他の案でも構いません。枠内の案から選ぶ場合は「案の番号」欄にその番号を書いてください。別の案を提案する場合は「案の番号」欄に「その他」と書いてください。

問3 問2のあなたの提案に対して、反対意見が出ました。その反対意見に対してどのように発言しますか？反対意見の内容を書いた上で、あなたの発言を話し言葉で書いてください。

問4 あなたは話し合いに参加した4匹を代表して、話し合いで最終的に決めたことを巣で暮らす全員に伝えることになりました。どのように話しますか？話し言葉で書いてください。最終的に決まったことは枠内の案①～④のいずれかと同じでも構いませんし、違っていても構いません。